

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	松阪市子ども・子育て会議（第18回）
2. 開 催 日 時	平成30年1月18日（木）午後6時00分から午後8時00分
3. 開 催 場 所	松阪市産業振興センター3階研修ホール
4. 出席者氏名	<p>委員 ◎須永進、三浪綾子、乾壮明、小川奈津美、前田則生、大橋信、鈴木エリ子、○塩谷明美、高橋恵司、高島清子、堤康雄、渡邊真佐美、達村京子、中村昭子、松田まゆみ、世古口茂樹、丸山竜平、岡田晴夫、小林奈美（◎会長・○副会長）</p> <p>事務局 藺部功こども局長、荒木章次こども支援課長、阪口和恵こども家庭支援担当監、松田武己こども担当主幹、大滝和則こども係主任、沼田雅彦こども未来課長、溝田典子保育指導担当監、大東学保育幼稚園担当主幹、太田晴美保育幼稚園係、南野忠夫子ども発達総合支援センター所長、岡田康健康づくり課課長補佐、青木俊夫教育総務課長、萬濃正通学校支援課長、深田政己生涯学習課長</p>
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	2人
7. 担 当	<p>松阪市殿町1340番地1 健康福祉部こども局こども支援課</p> <p>担当者：松田、大滝</p> <p>電 話：0598-53-4081 F A X：0598-26-9113</p> <p>e-mail：koshien.div@city.matsusaka.mie.jp</p>

事項

1. こども局長挨拶
2. 松阪市子ども・子育て会議会長挨拶
3. 議事
 - (1) 松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直しについて
 - (2) 平成29年度 子ども・子育てに係る主な事業の進捗状況について
 - (3) 平成30年度 子ども・子育てに係る主な事業について（松阪市実施計画より）
4. その他

議事録

別紙「松阪市子ども・子育て会議（第18回）議事録」のとおり

松阪市子ども・子育て会議（第18回）議事録

日 時：平成30年1月18日（木）18:00～20:00

場 所：産業振興センター3階研修ホール

出席委員：須永進（会長）、三浪綾子、乾壮明、小川奈津美、前田則生、大橋信、鈴木エリ子、塩谷明美（副会長）、高橋恵司、高島清子、堤康雄、渡邊真佐美、中村昭子、松田まゆみ、世古口茂樹、丸山竜平、岡田晴夫、小林奈美

欠席委員：達村京子

事務局：園部功こども局長、荒木章次こども支援課長、阪口和恵こども家庭支援担当監、松田武己こども担当主幹、大滝和則こども係主任、沼田雅彦こども未来課長、溝田典子保育指導担当監、大東学保育幼稚園担当主幹、太田晴美保育幼稚園係、南野忠夫子ども発達総合支援センター所長、岡田康健康づくり課課長補佐、青木俊夫教育総務課長、萬濃正通学校支援課長、深田政己生涯学習課長

配布資料：・第18回松阪市子ども・子育て会議・事項書

- ・松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（協議資料）
- ・松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）
- ・平成29年度 子ども・子育てに係る主な事業
- ・松阪市実施計画（抜粋）
- ・平成29年度 市議会における子ども・子育てに係る質疑・質問

[議事録]

<開会>

1. こども局長挨拶【園部こども局長より】

こども局の園部でございます。本日は、新年明けただばかりでお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。本年もよろしく申し上げます。

この子ども・育て会議は18回目であり、前回、7月28日に今年度の1回目を開催させていただきました。平成29年度、9か月が経過したわけですが、4月よりこども局が健康福祉部の中に設置されました。そして、松阪版ネウボラを掲げて、4月には新健康センターはるも開設しました。大きなことでは、幼稚園・小学校・中学校のエアコンの設置があったかと思えます。今後となると、注目することが幼児教育の無償化です。ちょうどオリンピックが開催される2020年度より本格的にスタートされます。その中でやはり、保育園、幼稚園の特に3歳のお家に見えるお子様がこういった動きをされてくるのか、保護者の考えも踏まえながら、今後、注視する必要があるのかなと思えます。数々のことが今後

もあるわけですが、担当職員、一つになってすすめていきたいと思います。では、29年度の事業の経過、平成30年の計画・予算のことも含めて、説明させていただきます。どうか忌憚のないご意見をいただきたいとお願いを申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。どうか、本日はよろしくお願い申し上げます。

2. 松阪市子ども・子育て会議会長挨拶【須永会長より】

皆さま、お集まりいただき、ありがとうございました。新年早々ということで、難しいテーマがあるんですが、いろんな意見を聞かせていただきながら、前にすすめていきたいと思います。今年は、ちょうど真ん中の年になり、後半に入るところです。より抽出した話し合いをすすめながら、支援事業計画の完成に向けて、意見をまとめていきたく考えていますので、よろしくお願いします。

3. 議事事項

(1) 松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直しについて

事務局より、資料の松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（協議資料）、松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（案）をもとに説明。

（質疑応答・意見交換）

会長

委員の皆様、只今の説明について、質問等あれば、どうでしょうか。

委員

中間見直し（案）の3ページのニーズ量について、もう少し詳しく教えていただきたいです。

事務局

このニーズ量につきましては、事業計画を策定にあたって、平成25年度に3,000人のアンケート調査をし、幼稚園・保育園のニーズ、将来的に希望されるニーズにつきましても、アンケートより割り出しています。平成27年度から平成31年度までのニーズ量は、そのアンケートより算出しております。また、中間年である平成29年度におきまして、平成28年4月1日のもともと想定した数値と認定のもらっている児童数との乖離について、あるいは場合によっては修正できるというところです。今回の中間見直しでは、実態との整合で見直すということで、平成30年と31年で先の2年間で一部修正をさせていただいたということでございます。

委員

平成 30 年度では数値が上がっておりますが、推定のニーズ量ということではないのでしょうか。幼稚園の数値というのは、実際の数値ではないのでしょうか。公私ともにということでしょうか。

事務局

はい。公私ともに潜在の方の方も含めての推計のニーズ量でございます。

委員

協議資料の 3 ページで、(3) 保育園・0 歳児の 3 号認定における見直しの判断のところで、年度途中で待機児童が発生していると書いておりますが、この数字は、ニーズ量が提供量を上回っておりません。どういうことなのでしょうか。

事務局

計画の見直しについては、4 月 1 日時点を基準として、判断することになっております。松阪市においては、年度途中で保育園に入園できない方が発生しております。そこで下方修正をしてしまうと実態とそぐあわないところがあるので、現実問題として見直しをしないと判断しています。

委員

計画上は、不足はないとなっているが、実際に年度を見ると不足時期が出てくるので、マイナスの時期もあるということなのでしょうか。

事務局

市全体としての見直しの判断をしています。実際には保育園によっては、保護者の希望や年齢等もございます。年度途中の待機児童につきましては、保育園・幼稚園のあり方基本方針で一定の方向を示したものがありますので、そちらの方で検討していきたいと考えております。

委員

計画に沿って、頑張ってくださいという理解でよろしいでしょうか。

事務局

はい。

委員

先ほどの待機児童の話ですが、現場としては、春は定員に余裕がありますが、8 月 9 月 10 月で 0 歳児はいっぱいの状況になります。半年でいっぱいになり、年々早くなっている

ように思えます。その辺りの実態が表に出てくるようなデータ資料を参考に作っていただければと思います。

事務局

事務局の方でも検討させていただきと思います。

会長

それでは、他にご意見がなさそうなので、松阪市子ども・子育て支援事業計画の中間年における見直しについて、委員の皆様にお諮りいたします。事務局より提案のありました計画の見直しについて、お認めいただける方は挙手をお願いします。

→全委員挙手

お認めいただいたということになります。事務局の方で何かありますか。

事務局

お認めをいただき、ありがとうございます。今後、この見直しにつきましては、3月に市議会に報告し、三重県に提出をさせていただきたいと考えております。

(2) 平成29年度 子ども・子育てに係る主な事業の進捗状況について

(3) 平成30年度 子ども・子育てに係る主な事業について（松阪市実施計画より）

事務局より、資料の平成29年度 子ども・子育てに係る主な事業（平成29年12月末時点の進捗状況）、松阪市実施計画をもとに説明。※(2)と(3)を併せて、報告する。

（質疑応答・意見交換）

会長

担当からの説明をいただきました。平成29年度の子ども・子育てに係る主な事業の進捗状況、平成30年度の事業については、松阪市実施計画に基づき、説明をいただきました。委員の皆様、只今の説明について、質問等あれば、どうでしょうか。

委員

実施計画書の19ページにある青少年の健全育成事業における放課後子ども教室推進事業について、230回という回数は、どこで、どういう形で行われたのか数値的なことを教えてください。また、地域の方がされているのでしょうか。

事務局

本日は、それに関する詳細な資料を持っていないので、後日、こども支援課を通じて、提出させていただきます。放課後子ども教室は、学校やグラウンドなど様々な形で実施しております。学校が土曜日休みとなっていた時に土曜日の居場所づくりとしてやってきた経過がございます。また、地域の方がコーディネーターとしてやってもらっております。

委員

2点ございます。1点目は、資料の中で平成30年、31年について、元号の表記がされておりますが、新元号がでてきます。30年、31年とするのか、新元号になるのか、今後、必要になると思われるのでお伺いします。2点目は、生涯学習課の放課後児童クラブ施設整備事業の件です。現在、第5小学校区で建設をすすめており、現在の隣接している教育会館・駐車場地20台分の敷地に建てることになりましたが、教育会館でPTAの会議がございます。会長会議だと現在の駐車場、第五小学校の駐車場ではいっぱいになり、駐車場の問題が懸念されます。代わりにJAの駐車場、松阪高校の駐車場をお借りすることになっておりますが、それだけでも納まらないこともあると思われます。建物が立つのは良いのですが、第五小学校グラウンドの駐車など駐車場の確保を考えていただきたいと思います。車の出入りもあり、PTAとしても事故のことを考え、ご配慮をいただければと思います。

事務局

放課後児童クラブ施設整備の件については、隣の第三銀行の寮があり、その駐車場に7台分確保し、支援員さんは置いていただくことになりました。また、建設中の施設前で駐輪場の横のスペースに2台分確保することをすすめております。建設により、11台分の駐車スペースがなくなってしまうわけですが、支援員は、第三銀行の駐車場に置いていただいております。現在はそのような対応をしております。

事務局

表中の元号の記載でございますが、今回お示しさせていただいたものは、平成で記載させていただいておりますが、市の方で元号に記載について、現在、検討しているところがございますので、今後は、その記載につきましては、改めさせていただきたいと思います。冊子につきましては、現在、出来上がっているものですので、ご了承いただきたいと思います。

委員

元号のことにつきましては、わかりました。また、駐車場のことにつきましては、ご相談申し上げたいと思います。

委員

今年度より幼稚園・保育園のあり方基本方針に沿って、こども未来課の方と一緒に就学

前の子どもたちの将来を見据えた幼稚園・保育園のあり方をみんなでということで、園長会も幼稚園・保育園と一緒にすすんでおります。昨年度までは、幼稚園は教育委員会にあり、特色ある学校づくり推進事業、学力向上推進事業も一緒にやっており、成果をあげております。平成29年度の主な事業には、小学校・中学校・幼稚園といれてもらっておりますので、松阪市実施計画の方も幼稚園を加えていただきたいと思います。

事務局

先ほども申し上げましたが、松阪市の実施計画は出来上がっているものですので、ご理解いただきたいと思います。

委員

進捗状況の4ページで、3歳児保育実施園の拡充において、公立幼稚園の拡充がすすめられております。計画の中でも取りあげられております。状況を見て、あるいは枠は広げずに話をすすめられたと思います。平成31年度は、掃水幼稚園での3歳児保育であります。今回、どういう影響があるのかなどあまり話がなかったと思われます。今後は、3歳児保育をすすめる時は、保育園あるいは私立幼稚園の方も話合いに入らせていただければと思います。

事務局

この点につきましては、申し訳ございませんでした。掃水幼稚園ということなので、周辺の保育園と地域の状況の統計を取りまして、判断させていただきました。私立幼稚園には影響がないものと考えておりましたので、申し訳ないですが、そのように判断させていただきました。そのような検討をすることがある場合は、影響を考え、ご相談をさせていただきます。

委員

幼稚園・保育園のあり方について、各園の保護者から意見が出ております。休園するところもこれから出てくる中、休園の園児を近くの幼稚園へ振り分けることによって、集団教育をすすめていくのか、それか認定子ども園をつくることで集団教育をすすめていくのか、意見が出ておりますので、教えていただけたらと思います。

事務局

今、委員がおっしゃられたとおりです。地域によって、幼稚園の状況が異なっております。心配しているところは、園児数が少なくなっているところ。就学前の子どもたちに育ちを保障していくには、ある一定程度の集団が必要だと思っております。その点においては、基本方針にも休園基準を載せております。全園児数が15人未満となった場合は、適切な集団規模と言い難いということで、休園措置し、子どもたちが集団で学べるようにしていきたいと基本的には考えております。ただ、認定こども園がどうかというところは、

今の幼稚園・保育園のすみ分けがうまくできていると考えておりますので、現時点においては考えておりません。

委員

実施計画書の17ページの学校水泳民間プール施設活用事業ですが、なぜ1校だけあがっているのでしょうか。私の子どもは、公立中学校、私立高校ですが、プールがなく、授業もありません。私自身は他府県で生まれて育って、中学校・高校とプールがあり、授業もありました。プールのない中学校が何校あるのか分かりませんが、ここにあがっている1校に対して、民間施設をお借りするという事なののでしょうか。その1校はどのように選ばれたのでしょうか。

また、英語コミュニケーション力向上推進事業では、イングリッシュキャンプは希望者だけなのか、学校全体の取り組みなののでしょうか。

事務局

市内の小学校36校ではプールはございます。しかし、40年以上経過し、老朽化している中で、平成28年度に民間プール施設活用の検討を行ってきました。平成30年度に1校モデル事業として、民間プールを活用した授業支援になります。指導するのは、教員となりますが、民間のインストラクターに補助してもらうこととなります。1校ですが、将来的に拡充とか考えていく中で、今のところとしてはモデル事業として、あげさせてもらっています。その1校につきましては、全学校に諮らせていただき、手をあげていただいた学校がありましたので、そちらを予定させていただいております。

また、民間プールを活用することによって、天候に左右にされずに授業が受けられること、インストラクターの指導によって、一層の効果があがるなど教育効果も含めて、モデル事業を考えております。また、6月・7月といった時期に捉われず、秋に授業ができないのかといったことも検討できるではと考えております。

事務局

イングリッシュキャンプは希望者となっております。中学生20名、小学生25名の計45名の参加となりました。

委員

先ほど、PTA会長より意見がありましたが、教育会館の駐車場の件についてです。教職員もその駐車場を昼間の会議で使うことがあります。過去には90人から100人単位の会議もしています。市の中心部で集まりやすい場所でしたが、現在は、駐車スペースが確保できていないので、分散している状況です。完成後は、今まで通り駐車場の確保ができ、会議ができるようにしていただきたいと思います。

また、幼稚園から中学校まで12年間を見通して、幼稚園・小学校・中学校が連携しながら、子どもたちをより健やかに、より学力が向上するように頑張っているところです。今

年度より幼稚園がこども局に移管されたことがあります。教育委員会とこども局と連携を図りながら、子どもたちの教育を充実させていただけたらと思っております。保育園・幼稚園・小学校・中学校が手を取り合って、やっていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員

実施計画の16ページの新たな学びの創造事業ですが、ICT支援員の年間派遣回数350回に対し、実績が513回ということで、1.5倍となっています。支援員の派遣は無料ではないと思いますが、1回の派遣に対しての経費も1.5倍になると考えられます。350回という目標設定とされるのであれば、1校あたり何回まで支援員を派遣させるとか、分からないところはすぐに来てもらうという感じではなくて、目標に近づけられた回数を設定されればいいのではないのでしょうか。もし、それが足らなければ、修正をしていけばいいのではと思います。

事務局

1日1校1回していたのが、午前と午後に分けて行くこともあり、そのため、実績回数が増えています。また、今年度に三雲小学校にタブレットを配置していることも増えている要因です。担当とも回数を見直しを図って行こうと検討しているところです。貴重なご意見ありがとうございます。

委員

実施計画の9ページの児童虐待件数の目標値20件で、そのようになればいいなと思えますが、ファミリーサポート事業の入会会員の中で育児が困難な方が多いと感じています。また、乳児家庭全戸訪問実施93.6%というものも高い数値ではありますが、訪問されていないお家もありますので、なかなか出て来られないお家が気になります。要保護に至るまでの養育が大切になってきていると思えますので、それぞれ学校・園でも把握はしていると思えますが、保護になる手前の予防を地域含めて、取り組んでいくことが大事だと感じています。

委員

進捗状況の2ページの子ども発達総合支援センターのことで教えていただきたいです。児童発達支援や放課後デイサービスをされていて、たくさんの方が利用されていると思います。あくまで市の施設ですので、たくさん民間施設が増えてきておりますが、市の役割として、たくさん利用されるのは良いと思うのですが、質の問題が出てくると思います。市として、チェック機能を担っていただけないのでしょうか。また、巡回・訪問相談もしていただいておりますが、実際に放課後児童クラブが相談したことがあるかどうかわかりませんが、相談は受けていただけるのでしょうか。

事務局

委員のご指摘の通り、民間施設が増えてきております。特に多いのは、就学している児童対象の放課後デイサービス事業が増えてきています。そのため、役割分担としては、子ども発達総合支援センター開設以降、想定の中で考えていたことは、民間では取り組みにくい訓練の分野を専門職が対応できる体制を整えていくのが良いのではないかと。関係機関、医療機関、児童の医療ケアの必要な対応もセンターが担うべきであろうと、すすめているところです。しかし、子ども発達総合支援センターで全てということは、なかなかできないことです。実は平成 29 年度以降、徐々に積み上げているのですが、人材育成事業という形で、いろんな情報を民間に流して行こうとすすめています。まずは、訓練の分野について、療育の分野についてというような形でテーマを決めて、ご紹介させていただき、ご希望の方がという形です。放課後児童クラブも昨年、来ていただいて、ご希望をいただいております。平成 30 年度からは情報提供の場に来ていただこうと考えております。例えば、愛知医科大学小児神経学の先生を予定して、その時にきていただき、てんかんのある子どもたちへ対応の仕方とか専門的ではありますが、この地域では、なかなか聞けない話を情報提供して行こうと考えております。実施にあたっては相談させていただきたいと思っております。

また、巡回・訪問相談については、保育園、幼稚園や学校への巡回の中で要請に応じて、相談員がお邪魔しております。放課後児童クラブさんからもその点もご要望があったと受け止めております。平成 30 年度からの体制づくりの中で組み入れていきたいと考えております。ただ、果たして、十分な体制ができるかどうかというところは、ここの場で断言できません。これからプログラムを組んでいくのでご了承いただきたいと思っております。現場としては、必ず対応できる体制にしていきたいと強く思っております。また、ご相談させていただきたいと思っております。

委員

1 か月ほど前に新聞記事で見たのですが、子どもの相談件数で前年は 16 件だったものが 30 何倍も増えているという内容でした。教育の関係ではございませんでしょうか。

事務局

子ども支援研究センターの 2 階にある青少年センターで実施している青少年からのフリーダイヤルの悩み相談かと思われます。学校での悩みや友達との付き合いの中での悩みを相談される件数が増えているという記事だと思われます。ただ、件数としては増えているものの、大半は特定の学生の方からの相談が 1 日何回もということも考えられます。それらがカウントされて、その数字になっているものだと思います。

4. その他

委員より、平成 30 年 3 月 17 日に三重県人権センターにて、開催される社会的養護の社会化フォーラムについて説明。

事務局より、「平成 29 年度の市議会における子ども・子育てに係る質疑・質問について」、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針に基づく事務事業の進捗状況について」、「今後の子ども・子育て会議について」を説明。

会長

これでは本日の会議は、終了とさせていただきたいと思います。ご苦労さまでした。

<閉会>